

No. 2	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	1	平野 武志	
<p>1. 令和8年度教育行政執行方針の重点施策の具体化について</p> <p>このたび示された教育行政執行方針では、「命の大切さ」「挑戦」「学ぶ喜び」「自立と共生」が掲げられ、教育行政の基本姿勢が明確に示されております。</p> <p>一方で、多様な施策が示されているものの、それぞれの到達目標や工程、成果の測定方法については具体像が見えにくく、理念がどのように実行され、いつまでにどの水準を目指すのかについて確認する必要があると考えます。</p> <p>理念を成果へと転換する観点から、以下4点について伺います。</p> <p>① 理念の具体的到達目標について</p> <p>「挑戦」「自立と共生」との文言が掲げられているが、令和8年度において具体的にどのような到達目標や成果水準を想定しているのか、数値指標や期限を含めた考えを伺います。</p> <p>② 地域指導者の確保及びスポーツクラブの連携について</p> <p>部活動の地域移行については地域指導者バンクの創設や総合型地域スポーツクラブとの連携など体制整備をどのようなスケジュールで構築していくのかを伺います。</p> <p>③ 英語教育施策の効果と検証について</p> <p>A L T 1 0名体制および検討補助事業について、英語検定取得率や英語による表現力向上など具体的成果をどのように設定し、その検証結果を今後の施策の継続・発展にどのように反映させるのかを伺います。</p> <p>④ 地域性を生かした教育及び新たな施策の検討について</p> <p>地域資源や体験活動の活用方針を踏まえ、地域の海洋学習や一次産業体験、郷土史・寒中みそぎ等の地域文化を題材とした探究型学習などを学校教育と社会教育で体系的に位置付ける考えはあるのか、またそれらを継続的な教育プログラムとして制度化するのか検討状況を伺います。</p>			教育長

## 2. 令和8年度町政執行方針における「集中と選択」の具体化について

町 長

令和8年度町政執行方針において、「限られた財源と人材の中で最大の効果を生み出すため、『集中と選択』を基本に町政運営にあたる」と示されました。人口減少や社会保障費の増大、公共施設の老朽化対策など、当町を取り巻く環境は厳しさを増しております。

今回示された当初予算（案）を拝見すると、生活環境・交通分野や医療関連経費が大きな割合を占めており、インフラ更新や義務的経費への対応が重点となっている構造が見受けられます。

一方で、産業振興・地域経済活性化分野は全体規模としては限定的であり、今後の成長投資とのバランスをどのように考えているのかが重要であると考えます。

そこで、令和8年度における「集中と選択」の具体化について、以下の3点について伺います。

① 令和8年度に最重点と位置付けている分野は何か。その分野に対し、予算及び人員をどのような基準で重点配分したのか。また、縮小・統合・廃止を検討した事業の有無と判断基準について伺います。

② 近年、当町では地域活性化起業人制度や地域おこし協力隊等の外部人材を積極的に活用してきました。今後は、これらの人材に明確なミッションと数値目標を設定し、観光マーケティング、空き家活用、企業誘致、DX推進など重点分野に戦略的に配置すべきと考えます。そこで現在の配置方針と成果指標の設定状況、さらに今後の戦略的人材活用の方向性について伺います。

③ 「持続可能なまちづくり」の到達像について、より具体的なお考えをお伺いします。過去、当町では大型公共投資や施設更新を進めてきましたが、今後は支出抑制のみならず、「町が自ら稼ぐ力」をいかに強化していくかが重要であると考えます。公有地や未利用資産を活用した再生可能エネルギー事業の収益化、観光施設への民間活力導入による経営改善、一次産業の高付加価値化と地域商社機能の強化、さらには企業版ふるさと納税やJクレジット制度の戦略的活用などを含め、将来を見据えた自主財源確保策をどのように位置付けているのか。また、人口規模、財政の健全性、基幹産業の構造を踏まえ、町長が考える「持続可能」の定義をどのように描いているのか、具体的な考えを伺います。